



スタートヘスタンバイ

これは釈迦に説法だった。こちらは文字通り百戦錬磨で10年前にピークは過ぎたとは言え、今回でちょうど120回目のフルだ。だが、そんなことは口に出さず、この場は超低姿勢で意見交換。その後の会食は居酒屋メニューがどんどん出てくる。旨いが、明日のフルに向けて控えめにいたたくことにした。それに手錢で飲み食いするのと違い、遠慮もしてしまう。会食後はタクシーで市内のスーパー銭湯に送迎していただき、20時半頃ホテルに戻った。明日に向けて部屋でリラックス。コンビニで仕入れた酒で飲み直しをして就寝した。

フルのスタートは10:30で、のんびり準備、のんびりスタート。目標はサブ4だが、はたして？前半はスピードを上げたい気持ちを我慢して10k通過59分。20k1時間56分。ハーフ2時間2分。勝田のコースは30kから37kあたりが応援もなく、小さなアップダウンが続き厳しくなる。だが、完走後のパーティで惨めな気持ちは味わいたくないので、我慢して走るしかない。

レース後の温泉、酒、ご馳走を夢見てひたすら我慢である。30k2時間54分。40k3時間56分。後半若干タイムを下げたが、4時間9分、ネット4時間4分でゴール。サブ4は無理だったが、ほぼイーブンペースで走りきれた。これも前夜の飲食をセーブしたおかげか？壮行会の感じでは、若い者でも私より早いランナーはいないように思っていたが、やはりメンバーの中では私が最初にゴールした。

ゴール後は前夜に配布されていた「ひたちなか海浜鉄道1日フリー切符」で、慰労会会場のいそざき温泉ホテルに向かった。太平洋を臨む露天風呂で気持ち良く汗を流し、セットメニューのフットマッサージのサービスを受けて17時から慰労会スタート。ところが参加ランナー8名のはずが、私を含めて3名しかいない！他の5名はゴールまで5~6時間かかってしまい、時間的にも体力的にも（これが一番の理由？）参加が困難との事で、残念ながら事務局2名を合わせた計5名で慰労会スタート。今日の走りのタイムや感想などを

話しながら、昨夜と違い終始リラックスムードの慰労会になりました。食事もお品書きのついた和食のフルコースを堪能させていただきました。

帰路の宿泊ホテルまでは超ローカル線の旅気分で勝田駅まで8駅30分ほどかけ、今日の日を思い起こしながら楽しみました。長いこと走っていると、こんなご褒美もあるのですね。

記録 ネットタイム 4:04:57  
菅原 孝一 記

### 1月月間MVP

2020年MVPが始まりました。  
今年こそはトップを目指して頑張りましょう。



365回目の歴史に誇る天下の奇祭“一関市大東町大原水掛け祭り”2月11日開催に今年も行ってきました。

小学生時代は「大原水掛け祭」の名称であり、全くの地域行事でしたが、少子化時代対応で全国からの出場者を迎える運びとなりました。

江戸壊滅的な最大級の火災「明歴の大火」を起源とする防火防災対策の一環として、商店街の道路両サイドの側溝の流れから柄杓で裸男に水を振り掛けたものでした。

嘗ては浅沼さんや平澤さんも寒風と冷水を全身に浴びて大いなる若さを発揮された時もありましたね。

私も還暦の年を本厄とする前厄、後厄の3回で人生の大厄を全て払うつもりが、後厄の年に市町村合併に伴う消防団の行事盛り上げの時代を迎えてしまいました。

本年も全市域から約100名が午前10時からの開会式に臨み水掛け全行程の行列行進の後、市民センターで昼食、12時半から木遣り唄、梯子乗り、纏振りの3種目を3度展開し、3時からの水掛けを鑑賞し、4時からの慰労会に寒さを乗り越えた1日の感動の時を迎える事となりました。

菅原 楠夫 記

### 会費納入者

小野寺卓司	2000円	斎藤祐二	2000円
川向 愛斗	4000円	西城 孝	2000円

(2面敬称省略)

順位	名前	1月走行	累計	累計順位
1	須藤 正男	259	259	1
2	佐藤 隆義	242	242	2
3	小野寺 卓司	230	230	3
4	菅原 孝一	212	212	4
5	畠山 真佐美	207	207	5
6	大越 昭夫	202	202	6
7	佐藤 文政	161	161	7
8	浅沼 善治	111	111	8
9	小嶋 哲郎	104	104	9
10	菅原 楠夫	70	70	10
11	平澤 和則	25	25	11
12	斎藤 祐二	15	15	12
13	千葉 健一	10	10	13
14				
15				
16				